

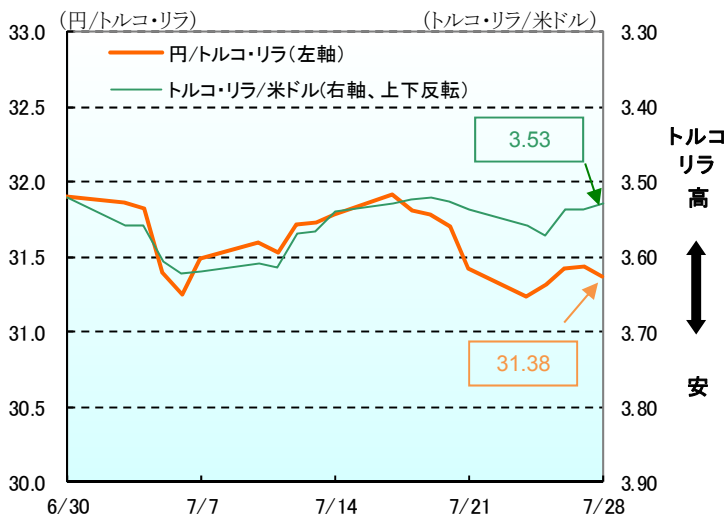
トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2017年7月22日～2017年7月28日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は1週間を通して見ると対米ドル、対円ではほぼ横ばいでの推移となりました。またトルコの2年国債金利については、金利上昇となりました。27日に行われた金融政策委員会では、事前の市場予想通り、後期流動性貸出金利を含めた主要な政策金利はすべて据え置かれました。声明文では、引き締めの金融政策姿勢をインフレ見通しが大きく改善するまで維持するとしています。債券市場では、ドイツとの関係悪化懸念などを背景に金利は上昇しました。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2017年6月30日～2017年7月28日)



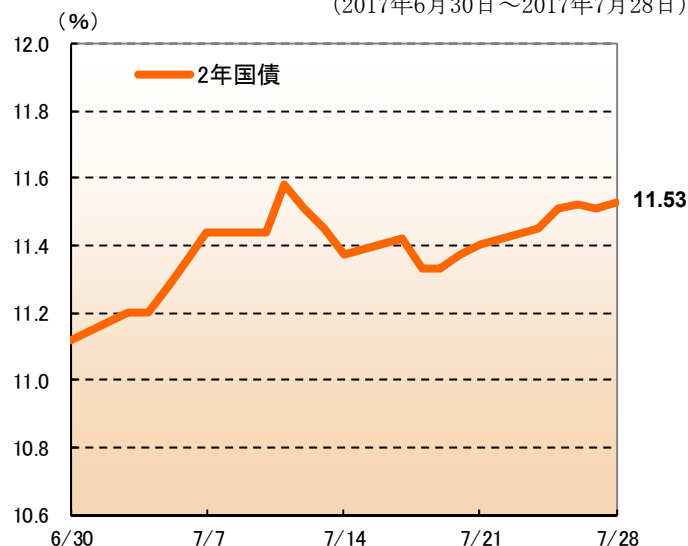
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

今週は7月の消費者物価指数の発表が予定されています。市場では前年同月比で見たインフレ率は低下傾向が続くことが予想されています。関係の悪化が懸念されるドイツについては、トルコとドイツの内相が電話会議を実施したことなどから緊張緩和に向けた歩み寄りがあったのではないかと考えられます。またエルドアン大統領は、サウジアラビアなどとカタールの緊張緩和に向けて湾岸諸国を歴訪しましたが、事態の收拾に向けた具体的な進展はなかったことを明らかにしました。引き続き、突然の地政学リスクの高まりには注意が必要だと考えます。

【トルコ 金利推移】

(2017年6月30日～2017年7月28日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

Daiwa Asset Management